



くりはら

市議会だより

第54号

平成29年11月16日



平成28年度決算を認定 2

決算審査 ここが聞きたい 4

常任委員会 付託議案審査報告 8

一般質問 まちづくりに19人登壇 10

「私もひとこと」

すがわら
普原

とおる
亨さん(志波姫)

さとう
佐藤

まこ
真子さん(花山)

20

みやぎくりはらこどもねつとわーく
あそびランド(志波姫公民館)

平成28年度

決算



9月定例議会は、9月12日から10月4日までの23日間の会期で開かれました。一般質問には、19人の議員が栗原市まちづくりプラン、子育て支援、学力向上対策、鳥獣被害対策、河川の整備など58項目にわたり市の考えを質しました。また、東北職業能力開発大学の学生に対し奨学資金を貸与できるよう「奨学資金貸与条例の一部改正」、工業団地の分譲地を売り払う財産の処分、工事請負契約、補正予算などを審議し原案のとおり可決しました。

平成28年度の一般会計、特別会計、事業会計の決算は、決算特別委員会を設置し集中審査の結果、原案のとおり認定しました。



新築された一迫総合支所

平成28年度 一般会計の決算

歳入は、平成27年度に比べ、市税は2億4257万円増の71億3282万円。地方交付税は、6978万円減の206億8606万円。県支出金は、5億4266万円減の26億7282万円。市債は、14億5130万円減の57億1480万円となりました。

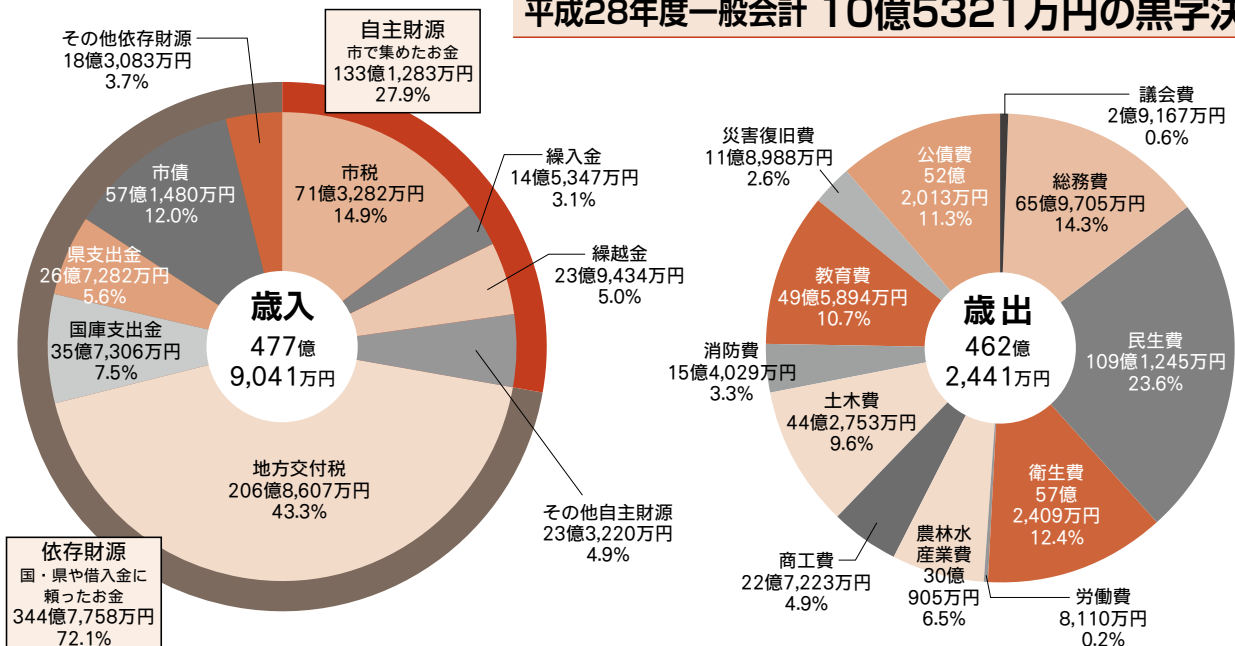
歳出は、総務費において、活力のある地域づくりを実現する財源として、まちづくり基金、一迫総合支所建設などにより65億9705万円。

民生費は、出生から18歳到達の年度末までの児童の医療費助成、障がい者の在宅や施設での生活支援、日常活動・就労支援などにより109億1244万円。

教育費は、私立幼稚園の教育環境の維持、運営費、授業料等保護者の負担軽減の補助、きめ細かな教育活動の推進、学力向上の実現を目指す学府くりはら教員等配置事業、少人数指導、学力向上推進事業などにより49億5893万円となりました。

歳入歳出の差引額は、15億6599万円となりますが、翌年度への繰越額が5億1278万円、実質収支は、10億5321万円の黒字となりました。

平成28年度一般会計 10億5321万円の黒字決算



ピックアップ

一般会計 議会の決算を見る

議会インターネット 中継委託料122万円

インターネットを利用してリアルタイム中継や録画映像を配信しています。

市民1人当たり支出額
18円

議員手当

3429万円

議員26人の期末手当です。平成28年度は年間3.25月分支給。

市民1人当たり支出額
492円

議員報酬 1億2661万円

議員26人の報酬です。議員の月額報酬は、議長49万7000円、副議長43万円、議員40万1000円となります。

市民1人当たり支出額 1815円

議会だより 526万円

議会だよりの印刷代です。平成28年度は年5回発行し、1回当たり2万5000部発行しております。

市民1人当たり支出額 75円

政務活動費 227万円

議員に政策調査研究などの活動のために支給される費用です。

詳細は下記の表のとおり

市民1人当たり支出額 33円



※市民1人当たりの支出額は平成29年7月末現在の栗原市の人口69,765人で計算しています。

平成28年度政務活動費収支一覧表

(単位：円)

会派または議員名	新政 くりはら	政策 フォーラム	新清流	社民党 栗原市議団	佐々木幸一	佐藤千昭	三浦善浩	合 計
人 数	5人	4人	4人	2人	1人	1人	1人	18人
交 付 額	1,500,000	1,200,000	1,200,000	600,000	300,000	300,000	300,000	5,400,000
支 出 項 目	調 査 研 究 費	637,376	264,280	231,394	0	0	0	1,133,050
	研 修 費	0	0	0	0	0	119,370	119,370
	資 料 作 成 費	0	0	0	0	0	0	0
	資 料 購 入 費	107,519	0	56,031	0	0	86,372	249,922
	広 報 広 聴 費	604,280	0	99,360	0	0	0	703,640
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 費	29,756	20,088	0	20,088	0	0	3,142
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	0	0	0	0	0	0	0
支 出 額	1,378,931	284,368	386,785	20,088	0	0	208,884	2,279,056
返 還 額	121,069	915,632	813,215	579,912	300,000	300,000	91,116	3,120,944

決算審査

ここが聞きたい

平成28年度の一般会計や9特別会計・2事業会計の決算は、議会議員が全員（議長を除く）で構成する決算特別委員会（委員長 三塚 東議員）で審査しました。

審査は市政全般にわたり、多くの質疑がありました。主な質疑をお知らせします。



三塚 東委員長

税務課

軽自動車税の未納額の理由は

問 軽自動車税の未納額が発生する理由は何か。

答 軽自動車税は、軽乗用車に限らず、車検が必要ない原付バイクや農機具などにも課税されるためである。

問 使わなくなった農機具など、廃車の申告をしないまま課税されている場合があるが、それに対する対策をしているか。

答 毎年、納税通知書にはどの車両のものが記載しており、廃車手続きのお知らせも同封している。

危機対策課

防犯灯設置の状況

問 平成28年度の防犯灯設置箇所は127基となっているが、要望箇所にはすべて設置したか。

答

要望箇所は162カ所で、うち35カ所が設置基準に満たないため施工しないと判断した。要望箇所から50メートル以内に防犯灯や街路灯が設置済みであることや、通行人や交通量が少ないことなどによる。

定住戦略室

移住相談者へのフォローはどうか

問 空き家活用移住生や、移住フェアの相談者に対するその後のフォローは、相談する方は人生がかかっているため

消防本部警防課

時間がかかる救急車の出発

問 通報し、救急車が患者宅に到着後、救急隊が発するまでに時間がかかっているのはなぜか。

答 救急車に同乗して、救急救命士の処置が拡大され、以前のように



命をつなぐ救急車

農林振興課

イノシシ被害 駆除すべき頭数は

問 農作物有害獣被害対策について、市として農作物被害を未然に防ぐための計画策定が必要と考える。駆除すべき頭数はどれくらいであるか。

答 市の単独での計画はないが、県の計画では、大崎・栗原地区でイノシシ70頭の駆除が必要とされている。

田園観光課

宿泊者数の状況

問 観光客入込者数10万人の伸びに対して、宿泊者数は1万人程度の伸びとなっているが、この実

績をどのようにとらえているか。

答 岩手・宮城内陸地震からの復興や日本ジオパーク認定による入込数の増となっているが、温泉などについてはまだ再開していないところもあり、宿泊者数は伸び悩んでいる状況ととらえている。

今後、インバウンドや周遊観光に取り組み、滞在していただけるような展開を考えていく。

都市計画課

築館バイパス進捗状況は

問 国道4号築館バイパスの現在の進捗状況は。



暫定2車線で供用開始された国道4号築館バイパス

答 築館赤坂から城生野までの7.5kmのうち、4.8km区間において暫定2車線で供用開始した。入の沢遺跡は、文部科学省に答申しており、国土交通省は、県や市における遺跡の保存に向けた具体的な方策を確認しながら進めていくとしている。

水道課

石綿セメント管更新状況

問 旧町村ごとの石綿セメント管の更新状況はどうなっているか。

答 築館地区14.8km、栗駒地区3.51km、瀬峰地区1.8km、高清水地区5.29kmの計104.6kmを更新した。

市民課

再交付件数
再交付日数は

問 個人番号カードの再交付の理由は何件あり、再交付の理由は何か。また個人番号カードの再交付には何日かかるか。

答 通知カードの再交付件数は741件、個人番号カードの再交付件数は14件である。大切な物という思いから、しまい忘れが主な理由である。個人番号カードの再交付は、1カ月程度、通知カードは、1週間から10日程度かかる。

環境課

不法投棄の状況

問 市内の不法投棄は何件か。不法投棄の再発の状況は。

答 平成28年度実績では、46件の問い合わせがあった。環境課の職員および総合支所の職員が見回りを行い、再発防止に努めている。再発防止策は、

不法投棄防止の看板設置などを実施している。

問 犬猫等死体処理業務委託料は、前年と比較し増額となっているが、件数は。

答 平成28年度実績は782件。平成27年度実績は623件である。車に轆かれて増えたものである。

社会福祉課

民生委員の処遇

問 民生委員は高齢化や活動も大変ハードであることから報酬についてはどうなっているのか。また処遇改善の考えはあるのか。また、現在の民生委員の人数は。

答 民生委員は年4万円の報酬である。各種相談や要支援名簿の作成への協力など業務も多岐にわたる。現在のところ改正の動きはないが、近隣市町村の状況を踏まえ検討を行う。現在は、主任児童委員を含めて270人である。

各会計の決算状況と採決のようす

区分	歳入	歳出	採決の結果	
一般会計	477億9041万円	462億2441万円	賛成21 反対4	
特別会計	国民健康保険特別会計	101億344万円	98億4802万円	全員賛成
	介護保険特別会計	95億5769万円	94億2389万円	全員賛成
	後期高齢者医療特別会計	8億2142万円	8億1597万円	全員賛成
	下水道事業特別会計	29億973万円	28億6793万円	全員賛成
	農業集落排水事業特別会計	2億4024万円	2億3332万円	全員賛成
	合併処理浄化槽事業特別会計	2億6455万円	2億5765万円	全員賛成
	簡易水道事業特別会計	15億3153万円	14億7338万円	全員賛成
	診療所特別会計	4億2569万円	4億922万円	全員賛成
	工業団地整備事業特別会計	18億366万円	18億319万円	全員賛成
計	276億5795万円	271億3257万円		
合計	754億4836万円	733億5698万円		
水道事業会計	18億3330万円	21億8861万円	全員賛成	
病院事業会計	82億6710万円	87億3511万円	全員賛成	

※水道事業会計および病院事業会計については、収益的収入・支出および資本的収入・支出の合計額を記載しています。
※議長は採決に加わりません。
※端数は四捨五入しております。